



JR東労組仙台地方本部 「第40回定期地方委員会」開催

委員会宣言

本日、仙台市戦災復興記念館において「第40回定期地方委員会」を開催し、私たちの今後の運動の基礎となる「新生JR東労組運動宣言」に基づいた方針を満場一致で確認し、仙台地本としても新たなステージへの一步を踏み出した。

本定期委員会では、多くの委員からこの間の組織強化拡大の取り組みや職場問題、施策に向き合いたたかひをつくり出してきた教訓的な発言が多く出された。職場現実が厳しい中においても組織強化を着実に前進させ、再加入のたかひを進めた成果が多くある。その反面、職場実態と向き合う中でなかなか組織拡大へ繋げることが難しい現実も報告された。組織強化拡大の取り組みはJR東労組の存亡をかけた未来をつくり出す重要な取り組みであり、労働組合としての真価が今こそ問われている。また、職場問題においては慢性的な要員不足により年休取得もままならず、安全を阻害する危険性を孕んでいる現実がある。仙台支社との団体交渉まで議論を高めて交渉をしてきた結果、会社の認識や今後の対応について具体的に引き出し、成果を確認した。即効性のある変化を導くには時間を要するが、今後も引き続き議論を重ねて職場の真実を訴え続けていく。18春闘以降、矢継ぎ早に出される会社施策に対しても職場の組合員と建設的な議論を繰り返し行い、本部交渉に反映させてきた。全ての運動は、正しい現実を掴み、全組合員の議論無くしては前進しない。今後も職場検証運動を積極的に展開して、安全を第一に、健康で働きがいのある職場をつくる為に多くの声を発信していこう！仙台地本はこれからも組合員に寄り添い、職場課題解決のために奮闘していく。

定期中央委員会当日、水戸、東京、八王子を中心に新労組が結成された。一部役員の自己保身によって多くの組合員を振り回し、JR東労組を破壊した行為は決して許されるものではない。主役は現場で汗する組合員であり、組合員の意志無くして組織は成り立たない。私たちは組織的な難局をこれまで幾多も経験してきたが、時のリーダーは情勢を見極め、組合員との信頼関係を高めてJR東労組の舵を取り、正しい航路を進んできた。組合員を騙し続け、事を誤魔化し、逃げ口上で舵を握れば進むべき方向に未来はない。私たちは不正や虚偽を決して許さず、あらゆる組織破壊行動に全組合員で立ち向かう。仙台地本も再生の為に立ち上がった仲間と固く手を取り合い、仲間の為、組合員の為にたかひ真のJR東労組運動を取り戻していく。

今春闘において経団連は日本型雇用形態の見直しを求めてきた。日本社会はいま大きな変化点に立っている。労働組合も雇用を守るために新たな道を切り拓いていく事が求められる。

JR東労組は必ずしも間違いの無い道を選んできたわけではない。選んだ道を全組合員で確固たるものにするために総団結し、組合員一人ひとりが血の滲むような思いで櫂を握り続けてきたからに他ならない。過去から学び未来に向かって成長するために、今こそ職場から「新生JR東労組運動宣言」に基づいた運動を愚直に展開し、全組合員で歩んでいこう！以上宣言する。

2020年2月15日
東日本旅客鉄道労働組合
仙台地方本部
第40回定期地方委員会

組合員のための真のJR東労組運動を取り戻して行こう

職場から新生JR東労組運動宣言に基づいた運動を展開し